



優しい音色と伸びやかな歌声で会場を魅了した掛屋剛志さん。15日、南城市文化センター・シユガーホール

弾き語りにうっとり 掛屋さんコンサート 南城市



【南城市】視覚障がい、発達障がいなどの複合障がいとともに生き、全国でピアノの弾き語り演奏を展開している掛屋剛志さん(20)は長崎県一のチャリティコンサート(同実行委員会主催、琉球新報社共催、全保連特別協賛)が15日、南城市文化センター・シユガーホールであった。

掛屋さんは「荒城の月」や「赤とんぼ」などのほか、自身が作曲した「おかあさん」などを披露した。掛屋さんの奏でる優しい音色と伸びやかな歌声に、会場は温かい雰囲気にも包まれた。バイオリン奏者の野口友江さんとピアノ奏者の山里瑠美さんによる共演などもあった。

収益金は、タイでエイズ患者の就労や貧困家庭の子どもたちに教育資金を援助している沖村真紀さんや、認定NPO法人アンビシャス、うるま市立高江洲小学校マーチングクラブへ贈呈された。東京電力福島第一原発事故の被災者支援コンサートの活動資金にも充てられる。